広報いいたて 平成31年3月号 No.661（毎月5日発行）
●発行 飯舘村 ●編集 総務課広報委員会 飯舘村役場 〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1 電話：0244-42-1611（代表） FAX:0244-42-1601

HOPES ホープス セカンド 2nd

乗り越えた先に成長がある

菅野 竜生 さん（佐須）

飯舘中学校の３年生。こども園・小学校・中学校が合同で開催した いいたてっ子発表会「赤蜻祭」で実行委員長を務めるなど学校生活でも積極的に活躍。４月からは福島市内の高校に進学します。

キックボクシングを始めたのは小学5年生の冬。避難先の近くにあったジムをのぞいたのがきっかけです。ジムの会長・菊地誠さんの指導で、キックボクシングと空手に打ち込みました。菊地さんによると、菅野さんは「何より練習熱心。とめないと練習をやめない」のだそうです。

　そして一昨年には、国際キックボクシング文化振興協会主催の全国大会でライト級チャンピオンに。しかし、「これから」という時に菅野さんは怪我に見舞われます。鍛えた筋力と成長する骨との間にアンバランスが生まれ、休養のため、全く練習ができなくなります。「トップを目指せる選手」としての期待も背負いながら、3か月、半年、さらに2か月と治療期間が延びていき、つらい時間が続きました。そしてようやく、この1月からの復帰。大会出場も視野に、トレーニングを再開しました。

幼児から大人までが通う「キクチジム」。写真はリング上でスパーリングを行う菅野さんです。菊地さん（左）の動きに合わせてミットを狙いバシッと音を響かせます。

　「大変なこともありましたが、学校では充実した1年を過ごしていました」と菅野さん。菅野さんの学年は、「飯舘中の卒業証書をもらおう」と村内への通学を続けた学年です。「振り返ると、大変さを乗り越えた所に成長があったと感じます。キックボクシングもさらに練習を続けて、いずれはプロとして活躍したい」と言葉に力をこめました。

〈編集後記〉

●福島県広報コンクールで広報いいたてが広報紙部門で佳作をいただきました。いつもいつも取材にご協力いただいている皆さまのおかげです。記事の確認も〆切ギリギリになることもしばしば。ほんとうに皆さまのおかげでございます。広報いいたてを見れば村の動きや行事が分かり、懐かしい顔が見られて元気になる。そんな広報目指してまいります。これからも、村の「笑顔」を届けてまいります。（木幡）

●絵本作家のいせひでこ先生による絵の授業におじゃましました。小学校の5・6年生が描いていたのは「心の窓」。私は、いいたてっ子の発想の豊かさと画力にすっかり魅了されてしまい、すべての窓をのぞいて歩きました。窓の世界に入り込み、それは楽しそうに描いていた子ども達。大きなキャンバスに並んだみんなの窓から吹く風に私の心も満たされました。（星）

the most beautiful villages in japan

飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。